

事前評価個表

整理番号	23
------	----

地域（地区）名	おおいたせいぶ 大分西部	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	大分県	対象市町村	ひたし 日田市 ほか 2町
事業実施期間	H30 ～ H34（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は大分県の西部に位置し、九州の屋根の一角にあたる、湧蓋山、星生山、福万山、岳滅鬼山、釈迦岳、尾ノ岳等、標高1,000～1,700mの山系によって周囲を囲まれている1市2町を包括する区域面積122千haの林業地域である。</p> <p>このうち民有林面積は88千ha（民有林率72%）であり、スギ・ヒノキを主体とした人工林面積は60千ha（人工林率68%）であり、人工林率は県平均51%を上回っている。</p> <p>また、基盤整備の状況は、林道376km（密度4.27m/ha）、作業道1,233km（密度13.98m/ha）が既に整備されているが、県平均路網密度は林道4.83m/ha、作業道11.72m/haとなっており、林道は県平均より低い、作業道においては高い状況となっている。</p> <p>本地区の森林資源の現状は、Ⅷ齢級以上の森林が65%と利用の適期を迎えた森林が増加しており、高齢級の森林に偏った齢級配置となっている。このことから、主伐と再造林及び利用間伐を中心とした森林整備を実施し、地域の活性化と健全な森林資源の維持増進を図る必要がある。</p> <p>本事業では、間伐材の利用促進と森林の持つ多面的機能の維持増進を図るため、効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と、搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：22,845ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：8,849,066千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.42</p> <p>（総便益（B）= 122,930,297千円、総費用（C）= 19,134,283千円）</p>
評価結果	<p>必要性：地域材の利用促進と森林の持つ公益的機能を発揮させるためには、適正な森林施業推進を図ることが必要である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性、森林資源の現状並びに自然条件を総合的に勘案した計画になっており有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

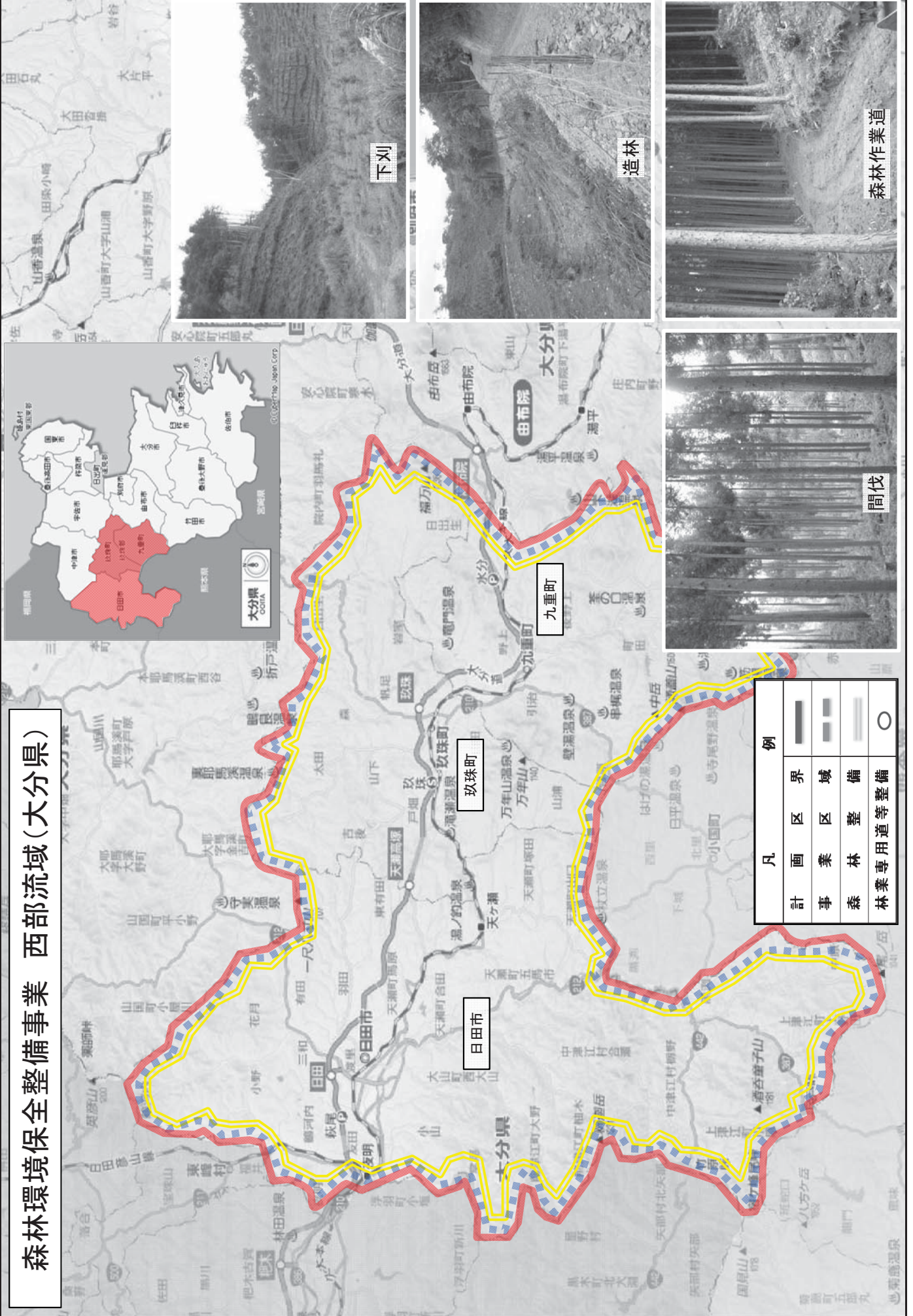
都道府県名: 大分県

地域(地区)名: ^{おおいたせいふ}大分西部

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	59,313,273	
	流域貯水便益	5,621,414	
	水質浄化便益	13,773,282	
山地保全便益	土砂流出防止便益	17,786,880	
環境保全便益	炭素固定便益	13,460,843	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	12,974,605	
総 便 益 (B)		122,930,297	
総 費 用 (C)		19,134,283	
費用便益比	$B \div C = \frac{122,930,297}{19,134,283} = 6.42$		

森林環境保全整備事業 西部流域(大分県)



凡 例	
計 画 区 界	—
事 業 区 域	▨
森 林 整 備	▨
林 業 専 用 道 等 整 備	○

森林作業道

造林

下刈

間伐